

自動会費納入

会員各位

会員管理事務の効率化と経費削減のため、自動振替による会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。当面の間は引き落とし手数料（税別 155 円）を学会の負担とさせていただきます。また、自動振替をご利用の会員全員に領収書を発行させていただいております（送付は 12 月末の引き落とし後）。

事務手続き上、外国会員につきましては従来通りクレジットカードによる、また学生会員につきましては郵便振替による振込みのみとさせていただきますので、ご了承ください。振替依頼文書をご希望の方は、下記事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

庶務幹事（会員担当） 関田 諭子

【お申込み・お問い合わせ先】

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目 5-1
高知大学教育研究部総合科学系黒潮圏科学部門

関田 諭子 宛
Tel 088-844-8697
E-mail sekida@kochi-u.ac.jp

訃報

本会元会員 館脇正和氏は平成 25 年 11 月 2 日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。日本藻類学会

LIXIL ギャラリー企画展（東京会場）

「海藻 海の森のふしぎ」展

Seaweeds, Wondrous Forests of the Sea

2013 年 12 月 5 日（木）～ 2014 年 2 月 22 日（土）

大阪で好評だった LIXIL（リクシル）の企画展が東京でも開催される。内容の詳細は前号（第 61 巻 2 号 118 頁）にご案内の通りで、かつてないほど芸術志向の強い海藻展示に仕上がっている。会場は JR 山手線有楽町駅から徒歩 10 分、無料となっており、東京にご出張の際には（上野の国立科学博物館も）是非ご覧いただきたい。（北山太樹）

【LIXIL ギャラリー】

開館時間： 午前 10 時～午後 6 時
休館日： 毎週水曜日、年末年始（12 月 28 日～1 月 5 日）
入館料： 無料
所在地： 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL:GINZA 2 階
交通： JR 山手線有楽町駅から徒歩 10 分、または東京メトロ銀座線京橋駅から徒歩 5 分
企画・制作： LIXIL ギャラリー企画委員会・株式会社 LIXIL
協力： 神戸大学内海域環境教育研究センター、国立科学博物館、名古屋大学博物館、北海道大学理学研究院、野田三千代
問合せ： Tel 03-5250-6530 Fax 03-5250-6549 URL : <http://www1.lixil.co.jp/gallery/>

藻見遊山



賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0031 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

ご投稿をお待ちしています

「藻類」は皆様の原稿で成り立っている雑誌です。原著論文のみならず、総説やその他の報文（記事等）のご投稿もお待ちしています。ご投稿に際しましては、次頁の投稿案内（2013年3月27日改正）をご覧ください。（編）

編集後記

和文誌藻類は年間3号ですから、本号で1年分の編集を経験させていただきました。編集委員の皆様をはじめとする多くの方々のご協力で、大きな問題も無く伝統ある雑誌を皆様にお届けできました。この場を借りて御礼申し上げます。

3号分の内容を振り返ってみますと、原著論文6報はすべて大型藻類でした。ぜひ微細藻類を対象にご研究されている会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。藻類学最前線は5報で、大型藻と微細藻の報告を1報ずつ掲載する事を目標としてきました。普段読まないような専門外の最先端の

研究成果と、その成果が出るまでの苦労や解決に至った経緯を楽しく読む事ができると評判ですので、今後も大型藻と微細藻の両方を同時掲載していこうと思っています。特にポストドクなど若手の方の研究紹介の場としても、ご利用いただければと思います。

様々な学会で和文誌はニュースレター化・HP上だけの掲載となっておりますが、会員の皆様にとって有益な情報が今後もこの和文誌藻類の形式でお届けしていきたいと思しますので、皆様からのさらなるご投稿、切にお待ちしております。どうぞ、よろしくお願ひします。（鳥田 智）

表紙

シャジクモ *Chara braunii* Gmelin

左：栄養藻体・基部に見える黒い点は発芽した卵胞子の殻・bar = 1 cm

右上：藻体頂端部・bar = 1 mm

右下左：雌器（生卵器；上）と雄器（造精器；下）bar = 100 μm

右下右：卵胞子・bar = 100 μm

作成者より

神戸大学理学研究科の圃場には様々な実験水槽が並んでおり、車軸藻類がしばしば勝手に現れては消えてゆきます。写真の藻体はその中の一つから得られたシャジクモの株です。（加藤将・神戸大学）